

身障ぐんま

No.103 WINTER 2022

新年の挨拶

公益社団法人 群馬県身体障害者福祉団体連合会 会長 杉田 安啓

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知のように新型コロナウイルス感染が世界中にまん延し、二年が経過しました。

群馬県内は減少傾向にあるものの予断は許されないと思います。日頃しっかりと感染対策をとっていきましょう。

昨年は、この様な状況の中、当連合会の各種行事が中止あるいは縮小となりました。

後に、一定程度コロナが落ち着いて来ているとのことから（県の警戒度1の判断）事業計画に基づき行事をすすめて来ました。

昨年は、相談員研修会、グラウンドゴルフ大会、第72回群馬県身体障害者福祉大会、障害者作品展、特別研修会等にご参加、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

第72回福祉大会で申し上げましたように障害者差別解消法が施行されて5年が経過しました。しかし、まだ県民の間で広く理解がなされているとは言いがたいと思います。

私達は、行政、企業等に障害者差別解消の運動を進めていかななくてはなりません。

大事なことは、障害のある人も健常者も互いに個人を認め合い、共に生きるという共生社会の実現を図ることであると思います。

本年、当連合会は、コロナが終息すると見込んで各種事業、行事を計画して参ります。

会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

すべての皆様にとって、良き一年となりますよう祈念申し上げ、挨拶いたします。



目次

- P1 …新年の挨拶
- P2 …新年知事あいさつ
…第22回 群馬県障害者作品展
- P3 …第19回 県身障連グラウンド・ゴルフ大会開催
…グラウンド・ゴルフ大会に参加して
- P4 …第72回 公益社団法人 群馬県身体障害者福祉団体連合会福祉大会開催
- P5 …令和3年度 身体障害者特別研修会開催
…県身障連特別研修会に参加して
- P6 …令和3年度 第2回 身体障害者世代間交流会 (SNS講習会)に参加して
…青年部会だより
…女性部会会長あいさつ
- P7 …ポリファーマシー
…県身障連の各種相談事業
- P8 …障害者による書道・写真全国コンテスト入選
…編集後記

新年知事あいさつ

群馬県知事 山本 一太



明けましておめでとうございます。

群馬県身体障害者福祉団体連合会の皆さまには、健やかな新春をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

貴連合会におかれましては、日頃から、身体障害者の自立や社会参加の推進に多大なる御貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、本県では、昨年3月に策定した障害福祉分野における基本計画である「バリアフリーぐんま障害者プラン8（エイト）」のもと、「全ての県民が、障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら、地域で共に暮らし、支え合い、安心して暮らすことができる共生社会の実現」を掲げ、様々な施策を推進しています。この取組には、身障連をはじめとした障害者関係団体、当事者の皆様との連携、協力が欠かせません。引き続き、県政に対する御理解、御協力をお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症から県民の皆さまの命と健康を守るため、保健所や医療提供体制の強化をはじめ、県営大規模ワクチン接種センターをいち早く立ち上げ、各市町村とも連携し全国トップクラスのスピードでワクチン接種を進めるなど、さまざまな対策に全力で取り組んでまいりました。引き続き、県民ならびに事業者の皆さまのご理解とご協力をいただき、力を合わせ、感染防止と地域経済を回していくという、この2つを両立できるよう、油断することなく、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

本年は、新・総合計画ビジョンで掲げた20年後の本県が目指す姿「すべての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会」を実現するための取り組みをさらに加速させ、新たなチャレンジの年にしていきたいと考えています。

今後も、県民の皆さまの命と健康、暮らし、経済を守ると同時に、心豊かな生活によって誇りと幸福感を持てるよう全力疾走で取り組んでまいります。

結びに、この一年が群馬県身体障害者福祉団体連合会の皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

第22回 群馬県障害者作品展

障害者への理解を深めるとともに、障害者の自立と社会参加の推進を図ることを目的に作品の画像を県身障連ホームページに掲載（ウェブ開催）していますので是非ご覧ください。

- 掲載期間 令和4年2月28日（月）まで
- 掲載場所 群馬県身体障害者福祉団体連合会ホームページ
<https://www.normanet.ne.jp/~gunmasin>
- 作品数 187点（内訳）

絵画	書道	写真	手工芸	立体作品	その他
73	15	5	65	7	22

第19回 県身障連グラウンド・ゴルフ大会開催

第19回グラウンド・ゴルフ大会を令和3年10月31日(日)、ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドで開催しました。

この大会は、県内身体障害者の健康保持増進と相互交流を図るとともに、身体障害者スポーツの振興に寄与することを目的に、毎年開催しています。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のためやむを得ず中止となりましたが、今年の大会には、9団体から13チーム、54人が参加しました。開会に続き県身障連杉田会長の力強いあいさつ、グラウンドゴルフ協会清水副会長からの分かり易いプレー上の注意、同協会長井副理事長による楽しい準備体操の後、同協会の山岡理事長の笛の合図で9時45分プレーを開始しました。

曇り空の中、赤・黄それぞれ8ホール計16ホールとして始まりましたが、途中から雨模様となり各選手が8ホールを終えた時点でやむなく終了となりました。

選手の中には調子が出てきて、さあこれからという方もおりましたが、健康が第一ということでありますので次年度での活躍が期待されます。

6位までの入賞者をはじめ、ホールインワン賞、特別賞など多くの方に賞品が贈呈されました。

今回も県グラウンド協会の皆様には、会場設営から当日の大会運営まで全面的なご協力をいただきました。また、群馬医療福祉大学の学生さんにはボランティアとして車椅子の方を補助するなど大変お世話になりました。その他会場関係者や多くの方々のご支援ご協力により、楽しく有意義な大会となりました。

入賞者

優勝	峯岸 誠	高崎市	19打
準優勝	君島皓之	みどり市	20打
第3位	高橋隆昌	みどり市	21打
第4位	高柳正綱	みどり市	21打
第5位	小黒利夫	みどり市	21打
第6位	中島正明	青年部会	21打

優勝された峯岸さんから寄稿をいただきました。



グラウンド・ゴルフ大会に参加して

高崎支部 峯岸 誠

令和3年10月31日(日)「ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド」にて県身体障害者福祉団体連合会主催の「第19回グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

杉田会長の挨拶の後、「群馬県グラウンドゴルフ協会審判長」のルール説明があり一斉スタートしました。

最盛期には120~130名の参加者でしたが今大会はコロナウイルスの感染関連もあり、不参加の支部も多く、60名程度で少し寂しい感じでしたが久しぶりに顔見知りの会員の顔を見ることが出来安心した気持ちになりました。

参加者の皆さん「ナイスショット」や「惜しいな」等、元気に楽しくプレーしていました。

当初は16ホールストロークプレーの予定でしたが雨がパラパラと落ちてきた為、審判長の判断で8ホール終了時点のスコアで成績発表及び表彰をすることになりました。

私は運良く40mのコースでホールインワンが出て合計16打で優勝となりました、まぐれ当たり優勝です。

審判やスコア記入、集計等支援頂いた「県グラウンドゴルフ協会」の方、「群馬医療福祉大学」の方大変お世話になりました、有難う御座いました。

第72回 公益社団法人 群馬県身体障害者福祉団体連合会福祉大会開催

11月15日午前10時30分、高崎市総合福祉センターにおいて第72回公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会福祉大会が開催しました。

表彰・式典では、物故者に対する黙祷、県身障連杉田安啓会長のあいさつに続き、表彰式、大会宣言及び大会決議の採択が行われました。

表彰式では、群馬県身体障害者福祉団体連合会杉田会長から援護功労者1名、団体功労者7名及び自立更生者5名に表彰状が贈られました。続いて受賞した13名を代表して一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟の橋詰二三江さんから謝辞が述べられました。

表彰式の後、群馬県知事山本一太様（津久井副知事代読）、群馬県社会福祉協議会会長川原武男様及び群馬県社会福祉事業団理事長塚越日出夫様からご祝辞をいただきました。

続いて、大会宣言、大会決議では、杉田会長が議長となり、大会宣言案を根岸副会長（沼田市身体障害者団体連合会）が読み上げ、大会決議案を早川副会長（群馬県聴覚障害者連盟）が提案し、いずれも満場一致で採択されました。

表彰関係

〈県身体障害者福祉団体連合会長表彰〉

●援護功労者

櫻井 節子（伊勢崎市身体障害者福祉団体連合会）

●団体功労者

土屋 信吉（伊勢崎市身体障害者福祉団体連合会）

中澤 信男（渋川市身体障害者福祉協会）

関 マサ子（渋川市身体障害者福祉協会）

市川 俊司（片品村身体障害者の会）

和泉 俊子（公益社団法人群馬県視覚障害者福祉協会）

橋詰二三江（一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟）

並木 貞司（群馬県身体障害者福祉団体連合会青年部会）

●自立更生者

深代 信吉（沼田市身体障害者団体連合会）

小幡マサ子（渋川市身体障害者福祉協会）

井上 淑（群鈴会）

高橋 宜隆（群馬県せきずい損傷者協会）

中嶋 恵美（群馬県身体障害者女性部会）



大会宣言

新型コロナウイルスのパンデミックから1年半以上が経過し、私たちの生活は大きく変化した。

そのような中でも多くの会員とともに、第72回福祉大会を盛大に開催することができた。

群馬県身体障害者福祉団体連合会は、「障害者権利条約」の主旨にのっとり活発な活動を続け、平成28年には、障害のある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指す「障害者差別解消法」が施行された。

今年の5月には、本法律の大きな柱である「合理的配慮の提供」を民間事業者に義務づける法案が可決され、6月には改正法が公布された。

しかしながら、障害者差別解消法の中心理念である「不当な差別的取扱いの禁止」及び「合理的配慮の提供」は施行後5年半が経過する現在でも十分に周知されていない。

オリンピック・パラリンピック東京大会は緊急事態宣言下で無事開催され大きな成果を上げたが、ユニバーサルデザインのまちづくりとともに、心のバリアフリーはさらに強く求められている。

また、全国的に高齢化の進展と新規会員の激減により、多くの障害者団体が解散を余儀なくされている今、若者との世代間交流を進め、相互の理解を深めて、団体の運営を次の世代に委ねることが急務となっている。

我々は今ここに、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現できるよう、一致団結して行動することを誓い、宣言する。

大会決議

- 1 障害者差別解消法の理解・啓発をさらに進めよう
- 2 地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 3 身体障害者相談員の必要性の周知と相談支援の充実を進めよう
- 4 身体障害者の世代間交流を進めよう
- 5 会員減少に歯止めをかけ、組織の活性化を図ろう



令和3年度 身体障害者特別研修会開催

身体障害者特別研修会が12月8日、高崎市総合福祉センターで開催されました。

従来1泊2日で実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため前年度に引き続き日帰りの研修会となりました。

当日は、会員及び福祉関係機関の方を含め約50人の参加となりました。

県身障連杉田会長の挨拶があり、続いて来賓の県障害政策課中村祐一課長からごあいさつをいただきました。

研修は、群馬医療福祉大学社会福祉学部 鈴木淳先生から

「ひとが死なない防災」：災害リスク回避のタイミングを「わがこと意識」で考える
と題して講演をいただきました。

移動の困難な高齢者や身体障害者にとって災害は命に関わる問題でもあります。先生は多方面から災害を捉え日頃からの備えや、住んでいる地域についても理解しておくことなど貴重なご講演をして頂き大変ありがとうございました。

当日参加いただいた方からの感想を次に掲載いたします。

県身障連特別研修会に参加して

みどり市身障者連盟会長 小黒 利夫

災害にはいろいろありますが、人災、火災、水害があります。災害は想定外で起こるため私達の様に身体に障害がある人にとって、急な避難はとても大変なことです。3.11東日本大震災では18,000もの人が亡くなりました。残された家族の苦しみ、災害の恐さへの苦しみは計り知れないものだったでしょう。



私は災害の時、避難所にいかず、自宅で過ごそうと思っていましたが、今回の講演を聞いて考えが変わりました。避難所にはトイレやスロープなどの問題が多く、私達身障者には困難なことがたくさんあります。

行政の人と問題解決に向けて話し合っていきたいと思っています。講演を聞いて避難所までの道のりを把握し、災害用品を備えておくことの必要性を学びました。さらに、災害の時はどの様に行動するかを家族で話し合っていきたいと思います。

令和3年度 第2回 身体障害者世代間交流会 (SNS 講習会) に参加して

群馬県せきずい損傷者協会会長 飯塚 智宏

「LINE」講習会について

皆さんは電話で話をしようとダイヤルし相手につながらない事はありませんか。イライラして連絡が取れずガッカリした事がありますか。私も、この様な経験をしていました。

これを解決してくれる方法が「LINE」という手段でした。アナログな私もスマートフォンに変えました。電話番号が分かり相手もLINEアプリを利用している方であれば連絡が出来るという便利な通信方法ですね。

スタンプを利用して会話の中にあいさつや泣いたり笑ったり今の表情を、送ることができ楽しむことが出来ます。素晴らしい事ですね。

また、写真を送ることが出来ます。皆で出かけた思い出の一枚を共有し、楽しむことも出来ます。それぞれの感想や出来事を、複数の人とトークで楽しむことも出来ちゃいます。電話を掛けることも出来てしまいます。

LINEは若い世代ばかりでなく年配者にも利用価値があると思います。

みなさんで「LINE」を楽しもう。



青年部会だより

群馬県身体障害者福祉団体連合会青年部会会長 原口 とし子

令和3年度第2回身体障害者世代間交流会 (SNS 講習会) に参加して

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様も元気で新しい年を迎えられたと思います。

11月13日(土)に群馬県生涯学習センターで講習会がありました。講師にドコモショップ新前橋店の各氏の方が来て教えてくれました。講習会は「LINE」の基本的機能や使い方を教えていただきました。若い方も多数集まりました。私もあまりよく分からず参加して一番前の席で色々分からない事を教えていただき勉強になりました。若い人は色々進んでいて楽しんでいるみたいでした。私も少しずつでも勉強していきたいと思います。その後交流会がありました。若い人は積極的で活発だなと思いました。身障連の事務局の方には大変お世話になりました。有難うございました。

女性部会会長あいさつ

群馬県身体障害者女性部会会長 青木 眞澄

新年明けましておめでとうございます。

月日の経つのは早いものです。去年の初めに「早くコロナが終息します様に」と願いましたが、未だに心配が尽きない状況です。女性部の行事もことごとく中止せざるを得ませんでした。本年もどれだけの行事が出来るかわかりませんが出来る事から実施していきたいと思っておりますので御協力をお願い致します。

昨今の中高年はたんぱく質の摂取量が足りていない事が報じられています。三度の食事毎に分けて食べると筋肉が衰えず良いそうです。密を避けつつ外出し、会話を楽しみフレイル(生活不活発)にならぬ様に何事も前向きに生きて行こうと思います。

先日の特別研修会「ひとが死なない防災」はとても参考になり、日頃から災害に備えておくべきだと思いました。本年も宜しくお願い申し上げます。

ポリファーマシー

済生会前橋病院 薬剤部 森下 宙輝

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬がのめなかつたりしている状態のことを「ポリファーマシー」と言います。（ただ単に服用する薬の錠数が多いことではありません。）

ヒトによっても異なりますが、高齢になると複数の病気をもち、受診する医療機関が増える傾向があります。75歳以上の高齢者の約4割は5種類以上の薬を服用しており、また使用している薬が6種類以上になると副作用を起こすヒトが増えるとされています。

高齢者に多い薬の副作用としてふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄（頭が混乱して興奮する、またはボーっとしたりする症状）、食欲低下、便秘、排尿障害などがあげられます。これらの症状が加齢に伴う生理機能の低下から生じているのか、薬の副作用によって生じているのか、その判断は難しい場合が多いですが、薬による副作用の可能性を検討する必要性もあると思われます。

薬が新たに追加された場合や、処方内容が変わった場合には特に注意が必要です。気になる症状がある場合には、自己判断にて薬を中止したり、減らしたりする前に必ず医師や薬剤師に相談してください。相談なく中止することで本来治療すべき症状が悪化してしまったり、急な服薬中断による有害事象が発生する危険性もあります。また複数の医療機関を受診している場合には、同じような薬が重複することもあります。

不必要な薬が増えないように、医師の診察時や薬局にて処方箋調剤を受ける際には現在服用している薬、サプリメント、市販薬などの内容を必ず伝えてください。この際、現在服用しているお薬などの情報を1冊のお薬手帳にまとめておくと便利です。



県身障連の各種相談事業

群馬県身体障害者福祉団体連合会では、次のとおり相談事業を行っています。お気軽にご利用ください。

◆群馬県障害者110番

▽相談日・受付時間

月曜日～金曜日（休祝日と年末年始を除く）

9時～15時（12時～13時を除く）

電話：027(251)1100 FAX：027(255)6275

メール：gunmakenshinren4@xp.wind.jp

▽弁護士無料法律相談（あらかじめ予約が必要です。）

毎月第1・第3火曜日

14時～16時

◆群馬県障害者差別相談

障害者差別に関する相談は、次の窓口で受け付けています。

▽相談日・受付時間

月曜日～金曜日（休祝日と年末年始を除く）

9時～16時30分（12時～13時を除く）

電話：027(251)1166 FAX：027(255)6275

メール：gunmakenshinren5@xp.wind.jp

◆結婚相談

▽内容 身体に障害をお持ちの方々が、良き配偶者に恵まれるよう、出会いの機会を提供し、結婚に関する各種相談に応じています。

▽申し込み手続き 障害者手帳を持参し、所定の登録カードに記入のうえ、最近の写真2枚を添えて申し込んでください。

来所される前に必ず電話等で予約をしてください。

▽登録資格

群馬県内に居住する身体障害者であって、結婚を希望する方

▽費用 無料（交流会に参加する場合には、参加費用が必要となる場合もあります。）

▽申し込み・問い合わせ先

電話：027(255)6274 FAX：027(255)6275

群馬県身体障害者福祉団体連合会

〒371-0843 前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター1階

障害者による書道・写真全国コンテスト入選

第36回障害者による書道・写真コンテストが開催され厳正な審査の結果、本県からは写真部門において、清水幸雄さんの作品「朝焼け」が銅賞に、そして高橋宜隆さんの「伊香保温泉街と仲間たち」が携帯フォト入賞を果たしました。

お二人の作品を掲載しましたのでご覧ください。なお、原作はカラー写真ですが、本機関紙ではモノクロとさせていただきます。



高橋宜隆（書道・写真全国コンテスト携帯フォト入賞作品）



清水幸雄（朝焼け）全国コンテスト銅賞

編集後記

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスに翻弄された昨年は、いくつかの行事が中止となりました。そんな中、規模を縮小したり日程を変更したりして福祉大会、グラウンド・ゴルフ大会、特別研修会、障害者作品展が開催できました。上の2枚の写真は、第36回障害者による書道・写真全国コ

ンテストにおいて入賞を果たした作品です。また障害者作品展は本連合会ホームページに2月28日まで掲載しておりますので是非ご覧くださいと幸いです。本連合会は障害者社会参加及び共生社会の実現に向けて皆様と共に頑張りますので引き続きのご支援と御協力を賜りますようお願いいたします。